

平成28年度 千葉県立千葉北高等学校の取組

1 学習指導の充実

日々授業研究を実施し、わかりやすい授業を展開

各教員による興味・関心を引きつける授業の工夫

(1) 授業力向上を目指した取組

- ① 授業公開及び授業錬磨 5月13日(金)、10月4日(火)・5日(水)
保護者や地域住民だけでなく、近隣の中学校からも多数の生徒・職員が来校し、授業を参観
- ② 職員相互の授業参観週間 1回目: 6月6日(月)～6月10日(金)
2回目: 10月3日(月)～10月7日(金)
互いの授業を見せ合い、授業力の向上へ
- ③ 授業力向上研修会 1回目: 6月10日(金)、2回目: 10月7日(金)
職員同士で意見交換を行った上で、課題やテーマを設定し、ディスカッションを実施
- ④ 管理職による授業観察及び事後指導
全職員の授業を管理職が観察し、適宜アドバイス

(2) わかりやすい授業の工夫

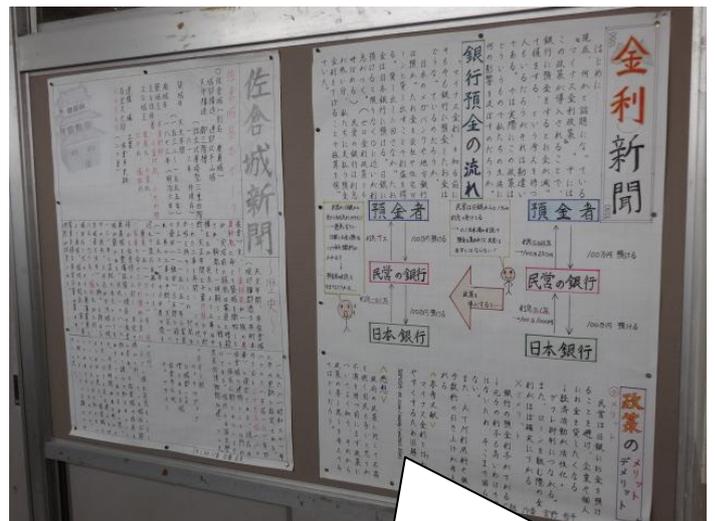
- ① 基礎的・基本的な知識・技能の定着
テキスト(教科書)や資料集だけでなく、自作のプリントやICT機器、映像教材なども使用
わかりやすい授業を目指して各教科担当者が工夫
- ② 授業の工夫・日頃の授業内容の定着
ペアやグループでの活動や発表も実施
言語活動をメインとした生徒参加型の授業を目指した工夫
各教科で平常時や長期休業時に課題を配布
常用漢字テスト・英単語テストを年間15回ずつ実施



ICT機器や映像教材を使用、板書や教材を精選し、わかりやすい授業を実践



ペア・グループワークを活用し、生徒同士で学び合うことで、思考力や表現力を育成



各自のテーマに沿って調べ学習を行い、壁新聞としてまとめ、廊下に掲示(3年・現代社会)

(3) 家庭学習習慣の定着

① SRシートの利用(3学年)

Self-Realization Sheet(SRシート)を全生徒に配布、実施。学習習慣の定着が進路実現につながり、最終的には自己実現(=Self-Realization)につながるという意味で、毎日の学習時間を記録・管理。夏季休業中は、1日10時間以上学習する生徒も見られるなど、今後にも期待。

2 生徒指導の充実

安全で安心な学校づくり

地域からも評判の落ち着いた学校

(1) 生徒の状況

1学期末の皆勤者数

1年：281名 2年：259名 3年：231名 全校1080名中、771名（約70%）

(2) 生活習慣の定着

① 登校指導 年3回（5月・10月・1月）実施

期間（2週間程度）中、生徒指導部職員を中心に正門付近で生徒への挨拶や声掛けを実施
遅刻の多い生徒には後日遅刻指導（午前8時登校）
※年間を通して職員が生徒昇降口付近で挨拶や声掛けを実施中

② 服装頭髪検査 年3回 4月・9月・1月

毎学期始めに服装や頭髪、身だしなみを点検し、基準に満たない生徒には改善するよう指導

③ 整容指導 ※整容：身だしなみ（容姿）を整えること

授業の開始時や集会時には「整容」の掛け声のもと、自分の身だしなみを整える習慣をつけさせる
※女子のスカート丈について本校ではひざ丈を堅持しており、近隣からの評価を受けている。
御家庭でも、御指導よろしくお願ひいたします。

授業見学の時、すれ違う際に生徒や先生があいさつする姿が好印象でした（保護者）

(3) 部活動（平成26～28年度）

① 全国大会出場 弓道部 ワンダーフォーゲル部 美術・工芸部 ラグビー部（女子）

② 関東大会出場 ラグビー部 水泳部

③ 県大会出場 男女バレーボール部 男女バドミントン部 男女バスケットボール部
ソフトボール部 男女テニス部 男女卓球部 陸上部

④ その他 生物部（千葉大学主催高校生理科研究発表会にて優秀賞を受賞）※2年連続



・よりいっそうクラスの仲が深まった。
・行事を通して、自分ももっとクラスに貢献したいという気持ちが強くなった。（本校生徒）

（左上）北斗祭（＝文化祭）の様子
毎年恒例の書道パフォーマンス
（右上）合唱祭の本選の様子
クラス全員が一丸となって合唱
（左下）体育大会の様子
クラス全員による長縄飛び

3 進路指導の充実

個々の進路希望に応じたサポート体制

将来への視野を広げるための充実したプログラム

(1) 進学補講

5教科（国社数理英）のみならず芸術科目（音楽・美術・書道）なども実施
各科目の基礎固めのレベルから入試対策レベルまで生徒の要望に応じて幅広く開講

① 平日放課後 1学期：21講座 2学期：21講座
年々講座数増加中 ※3学期も開講予定

② 夏季休業中 23講座

昨年度から進路指導部主催として実施教科・教室・時間割などを取りまとめ、組織的に運営
昨年度よりも講座数増加、4限目（午後）も開講するなど部活動生徒へも配慮

普段の授業でのアンケートに「大学入試レベルの練習問題などをもっと解きたい」の声

(2) 各種ガイダンス

年間計画に基づいて、生徒のニーズに応じて以下のとおり実施

① センター入試説明会（3年生対象）
センター入試の出願、受験に関する説明会

② 看護医療系ガイダンス（3年生対象）
看護医療系の上級学校への進学希望者に対して外部講師を招いて指導

③ 模擬面接指導（3年生対象）
全職員が一斉に模擬面接を実施

④ 就職・公務員ガイダンス（3年生対象）
就職・公務員志望の生徒向けに、事前準備や出願、受験に関する説明会を実施
校内での模擬試験や面接指導も実施

⑤ 「なるには」シリーズ（3年生対象）
警察や消防、各市役所等の受験希望者を対象に、上級学校進学後の進路選択も見据え、生徒が主体的に進路選択できるよう、現役の警察官や市役所広報の方を招いて現場で働くことの大変さややりがいなどの内容で講演会を実施（例年）

⑥ 上級学校ガイダンス（1・2年生対象）
大学職員による模擬授業（12月に実施）、上級学校関係者による説明会やOB・OGによる体験談（パネルディスカッション方式）を実施（3月に実施）



上級学校ガイダンスの様子
大学の教授らが授業を実演

(3) 大学訪問、オープンキャンパス参加

2年生の校外学習時に大学訪問
2年生夏休みにオープンキャンパス参加を義務化

(4) 保護者進路説明会

全体の保護者向け：5月13日（金）実施
2年生保護者向け：10月15日（土）実施

PTA研修会の様子（10月21日実施）
本校職員とPTA合同研修を企画・実施
保護者の皆様とともに北高生の進路実現を
バックアップ



今年度は青山学院大学へ行きました。
（複数の卒業生が在学中）

4 保護者や地域との連携

(1) 学校ホームページ（HP）の積極的な更新

学校内外における出来事や行事を随時HP上に掲載
本校生徒の活躍する姿や学校全体の活気を地域に発信

(2) 地域行事への参加

① 緑ンピック

緑が丘中学校区青少年育成委員会が主催する文化と遊びとスポーツの祭典に、毎年本校の吹奏楽部・書道部・茶道部が参加

② 宮野木小学校区家族大運動会

本校の吹奏楽部が演奏を発表し、好評を得た

③ 宮の杜自治会公園清掃

近隣の住民と一緒に公園清掃を実施

④ その他

緑ヶ丘公民館文化祭や避難所開設訓練などの行事にも参加

(3) ミニ集会

10月5日（水）開催

※開かれた学校づくり委員会も年3回実施



緑ンピックでの吹奏楽部の発表



宮の杜自治清掃に熱心に取り組む様子

5 魅力ある取組

(1) 国際理解教育

① オーストラリア短期留学の実施（7月14日～7月28日）

提携校のセントパトリックスカレッジへ生徒15名を派遣
2週間の期間中、ホームステイをしながら授業にも参加
その他にもパーティーなどのイベントを企画・実施

② 国際理解セミナーの実施（10月27日）

今年度の講師は戦場カメラマンとして活躍中の渡部陽一氏
演題は「世界をたずねて今伝えたいこと」
世界の戦場や被災地を歩み、感じたことについて講演



留学先で現地生徒に日本語を教える様子

(2) 高大連携事業

① 明治大学との連携

明治大学の教授による動物の命に関する講義及びラットの解剖実習を本校生徒が受講（7月13日）

② 東邦大学との連携

東邦大学の教授による「ヒトの筋肉に関する遺伝子多型分析」を本校生徒が受講（7月21日）

- ・ 高校生のうちに貴重な経験ができてよかった
- ・ 大学生の一員になれたような実感ができて、とてもよかった（本校生徒）

※詳細については本校HPをご覧ください。

URLはこちら <http://www.chiba-c.ed.jp/chibakita-h/>

QRコードはこちら



東邦大学での遺伝子多型分析の実習